

平成22年10月18日(月) 南第一地区福祉委員会主催

# 認知症徘徊模擬訓練

すずかけ会館  
(狭山ニュータウン自治会館)

真剣なミーティング



当日は、南第一地区福祉委員会の福祉委員・住民・他の地区福祉委員会委員長を含む34名が参加し、西山台1～3丁目の区域において、関係機関の協力のもと認知症徘徊模擬訓練を行いました。市内の福祉施設の職員やCSWの方が徘徊役として、あらかじめ決められた場所を徘徊しました。

参加者はそれぞれ割り振られた区域において、徘徊者の搜索をし、正しい声のかけ方や付き添いの方法等の実践をしました。

こんにちは、さくらが咲きだす季節...



学んだことを実践



- 声かけがとても大事で、さりげなく様子をみながら手をにぎる事もとても大切に安心されるように感じました。
- 未経験な分野を体感出来て大いに参考となった。
- ひとりで訓練する必要があると思います。地域で民生委員さんに情報を提供することも大事です。
- 対象者との関わり方の難しさの体験ができました。声かけが出来ても対象者の気持ちを理解することが難しかったです。
- 認知症の方の対応は大変難しい。訓練と思いながらも熱が入りました。自分も老化してきています。日頃からしっかり暮らしていこうと思いました。

南第一地区福祉委員会では「認知症の人への支援」をテーマに、平成20年度に「認知症サポーター養成講座」を、平成21年度には「認知症サポーター養成講座のステップアップ研修」等を実施しました。平成22年1月より大阪狭山市において「高齢者SOSネットワーク事業」がスタートし、行方不明の認知症の人の早期発見や徘徊者の保護等の体制が整ってきました。それにより今までの研修の成果を実践することで、さらに認知症に対する理解を深め、今後の活動展開に役立てることを目的として、認知症徘徊模擬訓練を実施しました。

# 大阪狭山市 社協だより

第71号

発行所

社会福祉法人  
大阪狭山市社会福祉協議会  
〒589-0021  
大阪狭山市今熊1丁目85番地  
TEL (072)367-1761  
FAX (072)366-7407

E-mail  
sayama@bf.wakwak.com

URL  
www.osaka-sayama.or.jp/

## 笑いは健康のもと 「上方落語特選競演会」



◎ 桂春団治・笑福亭鶴光・桂小枝 他

- とき 3月13日(日)14時～16時(開場:13時)
- ところ SAYAKAホール 大ホール
- 対象 市内在住の65歳以上の方

\*申込方法などは、市広報2月号の折り込みチラシをご覧ください。

## 会員募集のお礼

平成22年度の社協会員加入にご協力・ご支援ありがとうございました。

皆様方にご協力いただきました社協会員会費は、貴重な自主財源として地区福祉委員会や小地域ネットワーク活動の費用など地域福祉の向上のため有効に活用させていただきます。

平成22年12月末現在

種別	会員数(人)	金額(円)
正会員	6,620	6,620,000
賛助会員	126	378,000
特別会員	38	190,000
合計	6,784	7,188,000

## 共同募金・歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございました

平成22年12月末現在

平成22年度の共同募金運動は、一般募金が3,461,954円、歳末たすけあい募金は1,830,815円が寄せられました。

市民のみなさまをはじめ市内の各事業所・学校・関係団体等からあたたかいご協力をいただきました。

## 22年度 歳末たすけあい募金 配分金

	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
				ゆずり	難病の会さくらんぼ	大阪狭山市老人クラブ連合会	大阪狭山市市民生活児童福祉協議会	地区福祉委員会委員長連絡会				
合計	1,418,800	578,000	248,000	120,000	45,000	22,000	71,000	60,000	120,000	100,000	54,800	

## 共同募金の使われ方

昨年度、市民のみなさまからお寄せ頂いた共同募金(一般募金)は、次の各種事業の費用の一部に活用されています。

区分	事業内容
老人福祉活動費	ひとり暮らし老人会食会(月2回・さつき荘で実施)
障がい児・者福祉活動費	福祉団体活動助成
児童・青少年福祉活動費	福祉協力校活動助成(市内小・中学校 10校)
福祉育成・援助活動費	地域福祉・地区福祉委員会活動
	はばたきフェスタ
	社協だよりの発行(年3回)
	ボランティア活動助成
	民児協だより「さくら」の発行(年1回)

# 地区福祉委員会だより



清掃隊集合!

当日は、総勢71名の参加がありました。住みよいまちに向けて、自らが活動するという住民のみなさんの意識の高さを感じることができました。

## 半田地区福祉委員会

地域の課題として上がっていた「ゴミの問題」について平成21年度から検討してきました。今年度はじめて半田地区内一斉の清掃活動を12月19日(日)に住民の協力で実施



溝の落ち葉と格闘

しました。今後、ゴミの落ちない「美しいまちづくり」の実現にむけて活動を行っていきます。

# 福祉センターだより

福祉センターでは指定管理を受けて5度目のお正月を迎えました。この間利用者と共に作る新しい福祉センターを目指し、いろいろな事業に取り組んできました。

本年最初の取り組みは「門松」です。さやま荘園芸クラブの皆様の手作りです。

昨年、門松はイラストを参考にしようと思いましたが、なかなか見つけられず、利用者の方から「自分で作りたい」という声がありました。今年度は、園芸クラブに加入された会員が経験者で、本格的な門松が出来上がりました。一番難しいのは竹の先端をさして、刃物のように鋭く天を向き貫いていきます。まさに新年にふさわしく、新たな目標に向けて気持ちも引き締まる素晴らしい出来映えに職員一同感謝しています。本当に有り難うございます。これからも、利用者の皆様から愛される福祉センターを目指します。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



門松の前で

# 地域包括支援センターだより 14

「7病院MSW(医療ソーシャルワーカー)との交流会inおあさかやま Part. III」が、11月11日(木)に開催されました。

今後、ますます高齢者人口が増えていく中で高齢者のセーフティネットワークというキーワードのもと、ケアマネジャーをはじめ、民生委員・児童委員、ヘルパーさんなど、月一回専門職の代表者が集まる地域ケア会議から発信されたこの企画も今回で3回目を迎えました。

平成12年に介護保険制度が施行され日々の暮らしの支援として、制度の利用は浸透してきたように思います。そのような中でこの課題として、医療機関側からは「退院の際のかかりとつながり」が専門職の顔が見えてこない「専門職側からは医療機関と連携をとっていかねば、自宅生活に向けて円滑な退院に結びついていく」といった意見が挙がりました。

このように思いをつなげていくために、互いに交流できる機会があればいいなと、発想から生まれたのが大阪狭山市内の7つの病院のMSWとの交流会でした。

退院に向けて、利用者を支え合っていく関係者が、膝を突き合わせながら顔を見える関係をつくることには、退院から在宅生活へといった流れの中で、途切れなく一人の利用者を支えていくことができ、医療機関との連携もよりよくなりました。



交流会風景

専門職が一人でやれることには、限りがあると思えますので、地域の皆さまのご協力もいただきながら「みんなで支えあえる大阪狭山市を目指して」大阪狭山市地域包括支援センターはこれから機能の充実を図っていきたいと思えます。

介護保険や日々の生活の中で悩みや相談のある方は、どんな小さな事でも結構です。是非、地域包括支援センターにご相談ください。

主任介護支援専門員  
中尾 雅樹  
地域包括支援センター  
☎367-9922

# 大阪府社会福祉大会

平成22年11月24日(水)大阪国際交流センター大ホールにおいて、平成22年度大阪府社会福祉大会が開催されました。この大会で西地区福祉委員会が、大阪府社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。



《個人の部》 西野喜代子 吉川英之 吉川啓子 西口節雄 匿名(8件)  
《団体他》 尾崎電設工業株式会社 大阪狭山市商工会女性部  
大阪狭山市産業まつり実行委員会 スクッチ会等  
大阪狭山市社会福祉協議会職員厚生会

# あなたかい善意をありがとうございました

平成22年8月上旬から平成22年12月下旬までに預託をいただきました方のご芳名は左記のとおりです。

(敬称略・預託順)

# 香典返しはぜひ社協へ

社協では、寄付された「香典返し」「内祝い」を地域福祉向上のため、様々な形で地域に還元しております。

- 地域での行事でお使い頂ける、貸し出し用備品の購入(イカ焼き機・ポップコーン機・綿菓子機等保有)
- 社協で行われる事業への助成  
なお寄付金は、税控除の対象となっております。お礼状につきましては、社会福祉協議会でご用意させていただきます。

☆お問い合わせ ☎367-1761



# 救急医療情報キット配布事業 配布対象の枠を拡大!!

社会福祉協議会では、昨年10月より「救急医療情報キット」を配布しています。1月からは配布対象の枠を拡大しました。配布対象者で、希望される方に無料で配布しています。



## ▼ 配布対象者 ▼

- ① 65歳以上のひとり暮らしの世帯 ② 65歳以上の高齢者だけの世帯
- ③ 日中や夜間に65歳以上でひとりになる世帯 ④ 日中や夜間に65歳以上の高齢者だけになる世帯
- ⑤ 身体障がい者手帳1級・2級、療育手帳A・B判定、精神障がい者保健福祉手帳1級の手帳を保持している人
- ⑥ 特定疾患医療受給者証を保持している人

お問い合わせ▶ 社会福祉協議会まで ☎367-1761

# 編集後記

「社協だより」の編集に關わって、早や数年が過ぎました。近頃は、記事の中に「他人事は自分事」と思うことが沢山ある。時には体調がすぐれず立ち止まってしまうこと、先が心配になること、加齢現象も知れないが...

# ハートケアフェスタ

南河内最大級の介護・福祉展「ハートケアフェスタ」が開催されます。今年は開催日が二日間となり内容もさらに充実しています。みなさまのご来場をお待ちしております。

と き

3月20日(日)・21日(祝)  
午前10時から午後4時

と こ

SAYAKAホール・コンベンションホール、展示ホール

※詳しくは市広報3月号をご覧ください。

…さつき荘相談室までどうぞ…

- 心配ごと相談 毎週 月曜日 午後1時~4時
- 身体障がい者相談 第1・2・3・4 金曜日 午後1時~4時
- ひとり親家庭相談 第1・3 土曜日 午前10時~正午
- 知的障がい者(児)相談 第1・2・3・4 水曜日 午後1時~4時

祝日などで相談日が変更になる場合があります。電話での相談・問い合わせは ☎367-1761